

昨年4月に、日本脊椎外科学会の機関誌である『脊椎外科 SPINAL SURGERY』の編集委員長を金彪先生から受け継いだ。この雑誌の歴史を調べてみると、第1巻は1987年に発刊され、日本脊椎外科学会の発展とともに歩んできたともいえる。初期には本誌の編集委員も務めたこともある大阪市立大学の白馬明先生のご努力により日本脊椎外科学会（当時は研究会）の討論内容も詳細に記述されており、今読み返しても当時の熱気が伝わってきて興味深い。現在は Neurospine のアイデンティティを大切に誌面づくりを心がけている。今回あらためて振り返ってみると、初めの10年間の制作を三輪書店にお願いしていたことがわかった。その後の制作は一時期ほかの出版社を経て、2008年以降再び三輪書店へ戻っている。一方、本誌「脊椎脊髓ジャーナル」は、翌年の1988年に月刊誌として三輪書店から発刊され、毎月異なったテーマで特集を組むというユニークなスタイルを維持している。また、背表紙を見れば特集のタイトルがわかるため、何かを調べたいときには大いに役立っている。私の部屋には初期の号を除いてすべて揃っている。ときどき見返すことがあるが、当時、脊椎脊髓外科医にとって何が関心事であったかがよくわかる。また、同じテーマでも時代による変遷がよく理解できるのも面白い。ただし、編集委員にとっては毎年、興味深い企画を考えるのはなかなか骨の折れる仕事ではある。

さて、今月号の特集は「C5麻痺の今」である。術後のC5麻痺は脊椎脊髓外科医の誰もが関心をもつトピックスであるが、不思議に今までこのテーマのみに絞って本誌の特集が組まれた記憶はない。それだけ取り上げにくいテーマということになるかもしれないが、今回、根尾昌志先生の企画によって大変興味深い特集に仕上がっている。疫学、発生原因に関するさまざまな説、診断法、予後予測、予防法まで幅広いテーマが含まれ、それぞれについて最新の知見を得ることができる。その結果、全13編と通常号の特集としてはかなりのボリュームとなっているが、読み応えのある特集に仕上がっており、「C5麻痺」の知識の整理に大いに役立つものと思われる。

(高安正和)

脊椎脊髓ジャーナル

編集顧問

長島親男 小野啓郎 萬年 徹
高橋 昭 金田清志 小山素磨
小柳知彦 田代邦雄 国分正一
服部孝道

編集委員

徳橋泰明 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
青木茂樹 安藤哲朗 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 田口敏彦
谷 論 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 30 No. 3
(2017年3月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体2,300円+税)

(配送料別)

年ごめ予約購読料 30,700円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>
(担当：山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2017,
Printed in Japan

 <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。